



DIRECTED BY KAORI SAKAGAMI

# PRISON

## プリズン・サークル

# CIRCLE

ぼくたちがここに  
いる  
本当の理由

取材許可まで6年、撮影2年  
初めて日本の刑務所にカメラを入れた  
庄巻のドキュメンタリー

[www.prison-circle.com](http://www.prison-circle.com)

監督・制作・編集：坂上香 | 撮影：南幸男 坂上香 | 録音：森英司 | アニメーション監督：若見ありさ | 音楽：松本祐一 鈴木治行  
製作：out of frame | 配給：東風 | 2019年/日本/136分/DCP/ドキュメンタリー ©2019 Kaori Sakagami







過熱する犯罪報道、  
厳罰化を叫ぶ声——  
けれど私たちは、この国の  
「罪」と「罰」について  
多くを知らない。

「島根あさひ社会復帰促進センター」は、官民協働の新しい刑務所。警備や職業訓練などを民間が担い、ドアの施錠や食事の搬送は自動化され、ICタグとCCTVカメラが受刑者を監視する。しかし、その真の新しさは、受刑者同士の対話をベースに犯罪の原因を探り、更生を促す「TC (Therapeutic Community = 回復共同体)」というプログラムを日本で唯一導入している点にある。なぜ自分は今ここにいるのか、いかにして償うのか？ 彼らが向き合うのは、犯した罪だけではない。幼い頃に経験した貧困、いじめ、虐待、差別などの記憶。痛み、悲しみ、恥辱や怒りといった感情。そして、それらを表現する言葉を獲得していく…。

DIRECTED BY KAORI SAKAGAMI

# PRISON CIRCLE

監督は、『ライフアズ 終身刑を超えて』『トークバック 沈黙を破る女たち』など、米国の受刑者を取材し続けてきた坂上香。日本初となる刑務所内の長期撮影には、大きな壁が立ち上がった。取材許可が降りるまでに要した時間は、実に6年。この塙の中のプログラムに2年間密着したカメラは、窃盗や詐欺、強盗傷人、傷害致死などで服役する4人の若者たちが、新たな価値観や生き方を身につけていく姿を克明に描き出していく。

処罰から回復へ  
今、日本の刑務所が  
変わろうとしている

[www.prison-circle.com](http://www.prison-circle.com) [prison\\_circle](https://twitter.com/prison_circle) [fb.com/prison.circle](https://www.facebook.com/prison.circle)

とき: 2020 (令和2) 年9月27日 (日) ところ: 旭川市公会堂 (旭川市常磐公園)

第1部: 上映開始 午前10時30分 (開場 午前10時)

第2部: ①上映開始 午後1時30分 (開場 午後1時)

②トークショー / 講師 坂上 香 監督

料金: 無料

主催: 旭川弁護士会 (0166-51-9527)

共催: 日本弁護士連合会

※新型コロナウイルス対策のため、席は間隔をあけてお座りください。

※体調のすぐれない方、咳や発熱の症状のある方には来場をおことわりする場合がございます。